山都町立潤徳小学校　学校だより

狭霧（さぎり）の朝

潤徳小HP
QRｺｰﾄﾞ ←カラーで見られます！
令和５年１月１０日（火）　第５１号
校　長　池部　聖吾智（みわとも）

三学期がスタートしました

三学期は一年間のまとめをしっかりと行い、六年生は中学校進学に向けて、他の学年も次の学年への進級に向けて準備をする大切な時期となります。三学期は五十二日間と短く、あっという間に過ぎてしまいます。一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

冬休み中にうれしい知らせを聞きました。潤徳小の卒業生が、進学先の矢部中学校で学習面でチカラを発揮しているとのことでした。複式学級という厳しい学習環境の中で子どもたちが身に付けた「主体的な学び」が活きているのではないかと考えました。

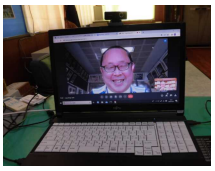
「今この学校で頑張っていることは、必ず後で生きる」ということを本校の先輩方が示してくれたと言えます。今回の知らせは、本校児童にとって大きな励みになりそうです。

私たちも日ごろの授業を大切にして先輩方に続こう！

東西「潤徳小」コラボ、これから本格的に進めていきます！

既に本校HPでもお知らせしていますが、冬休み中も校長同士オンラインで連絡を取り合い、3学期からの動きについて話をしました。（日野）潤徳小は、学年4クラスの大規模校のため、3学期は各学年ごとの交流を進めていくことにしました。具体的には、1月第3週くらいから学年ごとに週替わりで実施していく予定です。

12／14に、お互いの職員室の様子をオンラインで結んで、（矢部）潤徳小職員の自己紹介を終え、これから「質問タイム」というところで原因不明の回線切れが発生してしまいました(T-T)　まずは、この“仕切り直し”が必要です。そこで、3学期の交流1発目は職員室同士の交流から“再スタート”となる予定です。今後の交流の動きも、東西両潤徳小HPに掲載されるでしょう。今後の両校HPに、ぜひぜひ注目してください！



潤徳抄

今回は少々長めの冬休み。振り返ってみて、適度に遊び・休み・動き・考える時間が十分とれたように思う▼特に、休み中に旅行・読書・ラジオ・テレビ等で自身の見聞を広めることができたことは大きい。具体的には、「漫才や落語」から新たな教育の切口を模索しているところである。また、七日はセミナーに参加し、有益な情報を得た。三学期以降の教育活動にシッカリ生かしたい▼八日の昼に、十八年前に担任していた生徒から久しぶりに電話があった。現在は農業関連の幅広い業務に携わる職に就いており、山都町の有機農業に関心をもっているようだ。潤徳小にゲストティーチャーとして呼び、実際に給食を食べてもらうのもいいかもしれない。こうして卒業後も連絡をくれる・大変光栄なことである▼十二日は、「保健指導」のため朝からS病院へ行く。休み中は少々飲み・食べ過ぎたので、二学期の頑張りが無駄にならぬよう、残された二日間は最後の悪あがきをしたい（苦笑）